在宅取組型（小学校）

学 校 名 等	**恵那市立武並小学校**
実 施 日 時	平成 26 年 6 月 16 日～22 日 ／ 11 月 18 日～22 日
会 場	各家庭
参 加 人 数	全校生徒・保護者
学習課題（分野）	**家庭教育週間『親子のふれあい』**
運営者の願い	家庭教育週間の取組をきっかけに、親子で楽しい時間を過ごして欲しい。子どもも親も忙しい毎日だが、そんな日々の生活の中で、親子の会話が少しでも増えること、そして親子の絆が深まることを願う。

学 習 の 内 容

家庭教育週間 『親子のふれあい』（年間 2 回）

＜ 第一回 ＞

◇6 月 16 日～22 日

◇一週間の中で親子のふれあいを感じることができる取組を、アンケートに記入。

◇3 日分の枠を用意してあるが、1 日分でもよいことを明記し、できる範囲で参加しやすい工夫をしている。

◇最後に保護者に感想を書いてもらうということで、家庭教育週間のまとめをしてもらう。

第 1 回感想

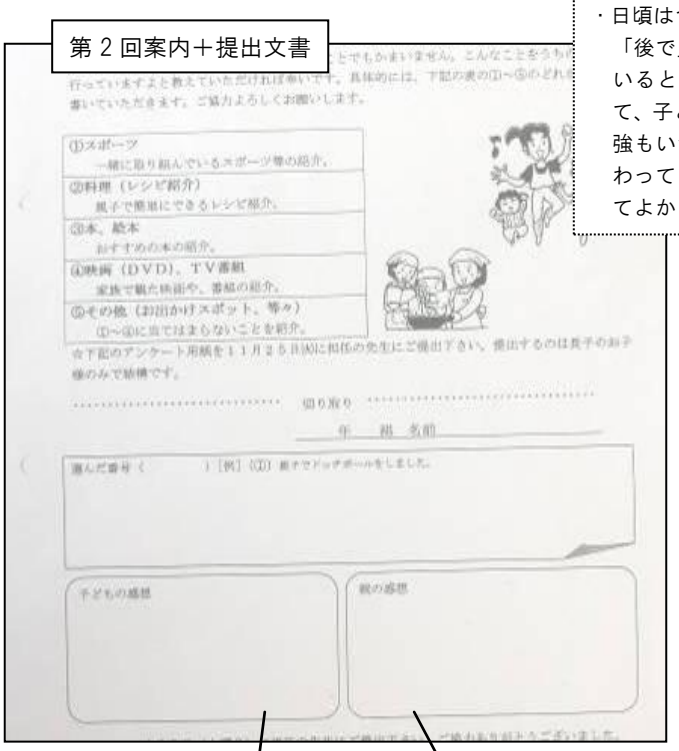
こんなことをしました（多かったものを順に１～５まで）

①スポーツ（バレーボール・サッカー等）
②散歩（蛍を見に行った・虫取り等）
③料理・お菓子作り（夕食作り・ケーキ作り等）
④トランプ・ウノ・オセロなどのゲーム
⑤読書・読み聞かせ

感想

・日頃はつい「ちょっと待っていて」とか「後で」となってしまうけど、意識していると、そのために時間を上手に使えて、子どもとも楽しく過ごせました。勉強もいつもは「やっておきなさい」で終わってしまうけれど、隣に座ったりできてよかったです。

第 2 回案内＋提出文書



＜ 第二回 ＞

◇11 月 18 日～22 日

～第 2 回案内文書より～

（略）こんなことがうちの家庭で流行っていますよと教えていただければ幸いです。具体的には、下記の表の①～⑤のどれかを撰んで書いていただきます。（略）

①スポーツ ②料理（レシピ紹介）③本、絵本④映画（DVD）、TV 番組 ⑤その他（お出かけスポット等々①～④にあてはまらないことを紹介）

◇親子それぞれ感想を記入し、提出する。

第 2 回感想

①キャッチボール

＜子＞キャッチボールをして楽しかったよ。

＜親＞いつの間にかしっかりしたボールを投げるようになり、キャッチも上手になっていた事に驚きました。
子どもの成長に驚きつつ、楽しくできてよかったです。

⑤百人一首

＜子＞楽しくできてよかったです。

＜親＞家族のみんなで楽しくできました。子どもの方が強いので、グループ対戦にしたり何度もやりました。

親子で感想を書く欄がそれぞれにあり、第二回家庭教育週間のまとめをしてもらう。どのことを書くか相談する段階でも親子の交流が生まれ、次に取り組むことなどを話すきっかけになっている。

毎年行っている伝統的な取組だが、その年度の役員が少しずつ変化を加えている。今年は『家族で長く取り組めること』を意識し内容を工夫している。家族の取組なので、提出は長子クラスのみという点も分かりやすい。

『その場限りでなく、普段から関わっていける気持ちを大切にしたい』ということも意識している。そのことから第二回には、家庭教育週間だけにこだわらず、親子のふれあいに関しての‘おすすめ’を交流する取組として、更に参加しやすくしている。集計結果を今後の参考にしてもらい、親子が意識して同じ時間を過ごして欲しいとの願いが伝わる。

毎回簡単な例を挙げることにより、取り組み易いものとなっている。

とてもシンプルな取組だが、『親と一緒に遊びたい、同じ時間を過ごしたい』と願っている子どもの本質に、多くの保護者が気付くきっかけになっていると感じた。